

報道関係者（医療担当）各位

【発信元】

東京医療保健大学 医療保健学部
医療情報学科 助教 瀬戸 僚馬

TEL 03-5799-3711

FAX 03-5799-3713

携 帯 090-2466-6673

E-mail r-seto@thcu.ac.jp

(E-mail での連絡が最も確実です。24時間対応可能)

Press Release

医師の事務作業 1日に2時間57分

～新医療施設開発振興財団助成研究班 徳島県下での調査結果より～

- ・ 新医療施設開発振興財団助成研究班（代表：東京医療保健大学・瀬戸僚馬）では、徳島県が緊急雇用対策事業の一環として実施する「徳島県医師事務作業補助者導入推進事業」の実施病院を対象に、医師が抱えている事務的な作業の負担を把握するための調査を実施しました。
- ・ その結果、医師は1日に平均2時間57分の事務作業を行っていることが明らかになりました。同様の調査は全国でも例がありませんが、医師にとって事務作業が大きな負担になっており、その軽減がまさに急務であることを、顕著に示した結果となりました。
- ・ 医師事務作業補助者は、通称「医療秘書」や「医療クラーク」と呼ばれる、医師の事務作業をサポートする職員です。徳島県では、今年度、同職種の導入推進事業を実施しています。この職種により、医師の約3時間に及ぶ事務作業の負担を軽減することが期待されています。
- ・ なお、欧米では、「医療秘書（メディカル・セクレタリー）」のような職種は既に80年以上の歴史があり、医師の負担軽減に大きな役割を果たしています。当研究班では3月にも徳島県下で同様の調査を実施し、同職種の導入効果を検証していきたいと考えています。

※ 調査結果の概要は、別添の資料をご覧ください。

★参考URL

◎徳島県医師事務作業補助者導入推進事業

(検索エンジンで「医療とくしま」を検索 ⇒ 「医師確保対策」をクリック)

http://med.pref.tokushima.jp/iryou_kenkou/normal/assure_doctor/index.html

◎新医療施設開発振興財団研究班（瀬戸班）

<http://plaza.umin.ac.jp/~seto/>

「徳島県医師事務作業補助者導入推進事業実施病院における
医師と医師事務作業補助者の役割分担に関する需要調査」(速報版)

平成21-23年度財団法人新医療施設開発振興財団助成
「医師と医療関係職種の役割分担を推進するための
オーダーリングシステムのアーキテクチャ再構築」研究班
研究代表者 瀬戸 僚馬 (東京医療保健大学)

【調査概要】

調査目的 : 医師の事務的業務の負担と、医師事務作業補助者への委譲可能性の把握
調査対象 : 徳島県医師事務作業補助者導入推進事業実施病院(14病院)のうち7病院に
勤務する医師187名にアンケートを依頼し、63名より回収(回収率33.7%)

1. 医師の事務作業負担

(1) 医師が最も負担と感じている事務作業(上位5業務のみ掲載)

業務	回答数	(%)
保険会社様式の診断書の作成	16	(25.8)
紹介状の返書の作成	8	(12.9)
紹介状の作成	7	(11.3)
介護保険の医師意見書の作成	5	(8.1)
初診患者への問診	5	(8.1)

(2) 医師が事務作業に費やしている時間

① 事務作業に費やしている時間数

平均 : 2時間57分/日

② 業務別の事務作業時間

業務	平均業務時間数(分/日)
外来診療録の記載	23.2
退院サマリーの作成	20.1
紹介状の作成	19.5
紹介状の返書の作成	17.7
保険会社様式の診断書の作成	12.6
入院診療録の記載	11.6
介護保険の医師意見書の作成	9.9
レセプトに添付する症状詳記の作成	7.5
診療録・画像検査結果の物的整理	6.8
初診患者への問診	5.8
学会・研究会のための資料作成等の準備作業	5.5
身障者・労災等の診断書の作成	5.2
その他	37.5

2. 医師事務作業補助者に委譲したい事務作業

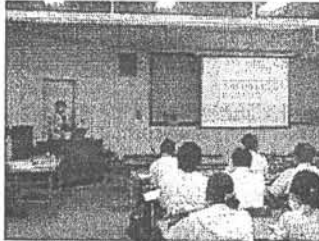
医事課経験者		病棟・外来クラーク経験者		病院未経験者	
業務	回答者数 (%)	業務	回答者数 (%)	業務	回答者数 (%)
レセプトに添付する 症状詳記の作成	13 (21.0)	外来診療録の作成	8 (12.9)	診療録・画像検査 結果等の物的整理	6 (9.7)
DPC様式1の作成	7 (11.3)	紹介状の作成	6 (9.7)	学会などの 資料作成	3 (4.8)
保険会社様式の 診断書作成	6 (9.7)	退院サマリーの 作成	6 (9.7)	学術論文などの 検索	3 (4.8)
病院様式の診断書 作成	5 (8.1)	初診患者への問診	5 (8.1)	医療器材の準備 ・後片付け	3 (4.8)



HOME お役立ち情報 救急・小児 災害医療 医師確保対策 看護の広場 計画・審議会 医療安全

TOP お知らせ 施策

平成22年度徳島県医師事務作業補助者導入推進事業(第2期)に係る受託医療機関の募集について



平成22年度徳島県医師事務作業補助者導入推進事業につきましては、先日第1期の募集を行い、平成22年8月に受託病院を決定したところですが、この度、別添要領により、対象となる医療機関の範囲を、県内の全ての病院及び特定の診療所(救急告示診療所、へき地診療所、分娩取扱診療所)まで拡大した上で、改めてこの事業に係る受託医療機関を募集いたします。

この事業は、本県の地域医療を支える医療機関における勤務医の負担を軽減し、医師の明会(講師は東京医療保健大学の瀬戸 安定的な確保に向けた環境整備を図るため、県が「社会実験」として医療機関に委託し、医療馬助教) 師事務作業補助者を各医療機関に短期間配置して研修しつつ活用していただき、その効果や課題等を検証しようとするものです。

可能な限り多くの医療機関にこの事業を活用していただき、本県における勤務医の勤務環境の改善と医師事務作業補助者の普及の糸口にしたいと考えておりますので、趣旨を御理解いただき、事業期間は短期間ではありますが、積極的に応募していただきますようお願い申し上げます。

◆受託医療機関の募集スケジュール

- 平成22年10月 8日(金) 募集開始
- 10月25日(月) 委託業務実施計画書の県への提出締切
- 10月 下旬 受託医療機関選定結果の通知

2010年10月8日 17時01分

【添付資料】

- ▶ 平成22年度徳島県医師事務作業補助者導入推進事業(第2期)の概要
- ▶ 平成22年度徳島県医師事務作業補助者導入推進事業(第2期)受託医療機関募集要領
- ▶ 実施計画書届出文書ひな形(一太郎ファイル)
- ▶ 委託業務実施計画書様式(一太郎ファイル)
- ▶ Q&A

【参考サイト】

- ▶ 診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について(厚生労働省通知)別添1(医科点数表)
- ▶ 「医師事務作業補助体制の推進を目的とした病院情報システムの標準的運用マニュアル」((C)「医師事務作業補助体制の推進を目的とした病院情報システムの標準的運用マニュアル構築」研究班)
- ▶ 医師及び医療関係職と事務職員等との間等での役割分担の推進について
- ▶ 届出受理医療機関名簿(四国厚生支局徳島事務所HP)
- ▶ 派遣先が講ずべき措置に関する指針

お問い合わせ先

保健福祉部 医療健康総局医療政策課
 地域医療再生室 永戸
 TEL:088-621-2212
 FAX:088-621-2898
 E-Mail:elto_akhito_1@pref.tokushima.lg.jp

関連コンテンツ

- ▶ 平成22年度徳島県医師事務作業補助者導入推進事業(第2期)に係る各種様式等について (10/21)
- ▶ 平成22年度徳島県医師事務作業補助者導入推進事業に係る受託病院の選定結果について (8/23)
- ▶ 平成22年度徳島県医師事務作業補助者導入推進事業説明会の開催について (7/21)
- ▶ 平成22年度徳島県医師事務作業補助者導入推進事業に係る受託病院の募集について (7/12)

これまでの記事一覧